

平成27年台風第18号による大雨等に係る被害状況等について（第40報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）
 ※年について特段の表記がない場合は全て平成27年である。

平成29年10月18日（水）10時00分
 消防庁 応急対策室
 ※下線部は前回からの変更点

1 気象の状況（気象庁情報）

- ・ 台風第18号が9月9日10時過ぎに愛知県知多半島に上陸した後、日本海に進み、同日21時に温帯低気圧に変わった。台風第18号や台風から変わった低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響で、西日本から北日本にかけての広い範囲で大雨となり、特に関東地方と東北地方では記録的な大雨となった
- ・ 平成27年9月9日から11日に関東地方及び東北地方で発生した豪雨については、「平成27年9月関東・東北豪雨」と命名（9月18日）

2 被害状況

都道府県	人的被害					住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者			全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷	程度不明							
人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
岩手県										4		
宮城県	2		1	2	2	578	308	140	728		2	
秋田県							3		1			
山形県			1					13	19			
福島県					3	3	20	60	330	1	70	
茨城県	15		5	51	54	5,542		230	3,880	33	1,369	
栃木県	3		2	4	22	967	29	1,100	3,939	2	225	
群馬県									9		1	
埼玉県				3			6	880	3,988		5	
千葉県							9	44	67		1	
東京都				1			1	8	14		4	
神奈川県							2	2	1			
新潟県									1			
富山県				1								
石川県				1							1	
長野県							1		1		1	
岐阜県							2			1		
静岡県			1	4			1	22	90			
愛知県			1	3			1		16		6	
三重県							1	24	170			
鳥取県				1								
香川県									1			
合計	20		11	71	81	7,090	384	2,523	13,259	37	1,685	

<死者の状況>

- 【宮城県】・栗原市において、軽自動車が流され、乗っていた40歳代女性が救出されたが、搬送先の病院で死亡を確認（9月11日）
- ・栗原市において、60歳代男性が行方不明となり、検索活動を実施していたところ、熊川で発見され死亡を確認（9月12日）
- 【茨城県】・常総市において、50歳代男性が水田の中で倒れているのを通行人が発見、現場にて死亡を確認（9月13日）
- ・常総市において、水が引いた浸水地域から70歳代男性が発見され、現場にて死亡を確認（9月13日）

- ・境町において、40歳代男性が9月10日に自転車で自宅を出たまま行方不明となり、検索活動を実施していたところ、発見され現場にて死亡を確認（9月16日）
- ・常総市において、上記のほか災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、災害が原因で死亡したと認められた死者（災害関連死）12名

- 【栃木県】・鹿沼市において、住宅に土砂が流入し、巻き込まれ行方不明となっていた60歳代女性が発見され、搬送先の病院にて死亡を確認（9月10日）
- ・日光市において、20歳代男性が作業中に排水溝に転落し、心肺停止状態になり、救出後収容先の病院で死亡を確認（9月11日）
 - ・栃木市において、60歳代男性が水没した車から発見され、現場にて死亡を確認（9月13日）

<重傷者の状況>

- 【宮城県】・栗原市において、30歳代男性が車で走行中、土砂崩れに巻き込まれ脳挫傷（9月11日）
- 【山形県】・山形市において、80歳代女性が風に煽られ転倒し骨折（9月9日）
- 【茨城県】・常総市において、自宅療養中の70歳代女性が、停電により人工呼吸器が停止したため呼吸困難（9月10日）
- ・常総市において、60歳代男性が自宅敷地内のぬかるみに足を取られ転倒し左大腿骨骨折（9月11日）
 - ・常総市において、80歳代女性が持病等の悪化（9月11日）
 - ・常総市において、上記のほか災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき、災害が原因で精神または身体に著しい障害を受けたと認められたもの2名
- 【栃木県】・鹿沼市において、住宅に土砂が流入し、巻き込まれた60歳代男性が足を負傷（9月10日）
- ・日光市において、60代男性が駐車車両内で土砂崩れに巻き込まれ右鎖骨骨折（9月10日）
- 【静岡県】・湖西市において、80歳代女性が風に煽られ大腿部を骨折（9月9日）
- 【愛知県】・豊橋市において、70歳代女性が風に煽られ転倒し負傷（9月9日）

3 避難所の状況

- 【茨城県】平成28年3月1日をもって県内全避難所を閉鎖
- 【栃木県】11月15日10時00分をもって県内全避難所を閉鎖
- 【宮城県】9月23日12時00分をもって県内全避難所を閉鎖

4 都道府県における災害対策本部の設置状況

【宮城県】	9月11日	8時30分	災害対策本部設置
	9月11日	19時30分	災害対策本部廃止
【茨城県】	9月10日	10時00分	災害対策本部設置
	12月31日		災害対策本部廃止
【栃木県】	9月10日	5時00分	災害対策本部設置
	平成28年3月31日		災害対策本部廃止
【愛知県】	9月8日	11時43分	災害対策本部設置
	9月9日	17時30分	災害対策本部廃止
	9月9日	19時25分	災害対策本部設置
【三重県】	9月8日	14時42分	災害対策本部設置
	9月9日	18時00分	災害対策本部廃止
	9月9日	23時00分	災害対策本部廃止

5 消防機関の活動

9月10日	8時20分	茨城県消防防災ヘリコプターが情報収集及び救助活動（栃木県消防防災ヘリコプターは天候不良のため飛行不可）
	10時04分	茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部がつくば市消防本部及び常総地方広域市町村圏事務組合消防本部に応援要請。これを受け、隣接2消防本部が出動
	11時00分	栃木県消防防災ヘリコプターが情報収集
	14時00分	茨城県広域消防相互応援協定に基づき、常総市から茨城県を通じて茨城県各市町村に対し応援要請。これを受け、県内7消防本部が出動（以降、9月17日まで実施）

- 9月11日 1時41分 宮城県黒川地域行政事務組合消防本部が石巻地区広域行政事務組合消防本部及び塩釜地区消防事務組合消防本部に応援要請。これを受け、2消防本部が出動
- 5時27分 茨城県消防防災ヘリコプターが情報収集及び救助活動
- 6時45分 宮城県黒川地域行政事務組合消防本部が仙台市消防局に応援要請。これを受け、仙台市消防局が出動
- 10時45分 宮城県大崎地域広域行政事務組合消防本部が仙台市消防局に応援要請。これを受け、仙台市消防局が出動
- 9月12日 5時25分 茨城県消防防災ヘリコプターが情報収集及び救助活動
- 7時30分 宮城県消防防災ヘリコプターが情報収集及び救助活動
- 9月13日 6時55分 茨城県消防防災ヘリコプターが情報収集及び検索活動（以降、9月19日まで実施）

6 消防機関等の救助・救出活動等

(1) 救助者数

- 9月10日～12日 2,256名（茨城県1,742名、栃木県361名、宮城県153名）
 ※ 9月13日以降、新たな救助者なし

(2) 消防機関の活動状況

① 緊急消防援助隊

- ・派遣期間 9月10日（木）～9月17日（木）〈8日間〉

	活動規模(人員)	
	緊急消防援助隊	
	陸上部隊	航空部隊
9月10日(木)	151名	5隊
9月11日(金)	342名	8隊
9月12日(土)	347名	7隊
9月13日(日)	359名	6隊
9月14日(月)	343名	6隊
9月15日(火)	282名	6隊
9月16日(水)	237名	6隊
9月17日(木)	185名	—
延べ	2,246名	44隊

- ・茨城県において救助活動を実施し、航空部隊による救助者数は272名、陸上部隊による救助者数は514名

② 地元消防本部等

- ・被災地では、消防機関の人員（消防吏員、消防団員）が県内の広域応援を含め、救助、救急等の対応を実施
- ・特に被害の大きい茨城県では、9月10日から9月19日までの間において、茨城県防災航空隊（消防防災ヘリ）延べ10隊61名のほか、県内応援延べ496名、地元消防本部（常総地方広域市町村圏事務組合消防本部、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部）延べ1,544名が捜索救助活動を実施し、救助者数は956名（うち茨城県防災航空隊による救助者数は36名）

(3) 救出事例等

【宮城県】

- 9月11日 ・大崎市において、渋井川が氾濫し、取り残された住民約120名を消防隊、消防団員がボート等で救出
- ・栗原市において、行方不明者の捜索のため消防隊20名、消防団員20名が活動

9月12日 ・栗原市において、行方不明者の捜索のため消防隊38名、消防団員40名及び県防災ヘリが活動

【茨城県】

9月10日 ・常総市において、電柱につかまり救出を待っている住民8名を消防防災ヘリが全員救出
・常総市において、車の上に取り残された住民1名を救出
・常総市において、アパートに取り残された住民2名を消防防災ヘリが救出
・常総市において、鬼怒川で流された住民1名を消防防災ヘリが救出
・常総市において、住宅が流され、共に流された住民6、7名を消防防災ヘリが救出
・常総市において、住宅の屋根から流された住民1名を消防防災ヘリが救出

【栃木県】

9月10日 ・日光市において、民家に取り残されていた住民3名を、消防防災ヘリが救出
・鹿沼市において、民家に土砂が流入し巻き込まれた住民2名を救出
・日光市において、道の駅「湯西川」に取り残された15名を救出

7 消防庁の対応

9月 8日 15時30分 総理指示を受けて、全都道府県に対し「台風第18号等警戒情報」を発出
16時48分 情報収集体制強化のため、災害対策室を設置（第1次応急体制）
9月10日 0時25分 特別警報が発令された栃木県に対し、適切な対応及び被害報告について要請
7時10分 国民保護・防災部長を長とする災害対策本部を設置（第2次応急体制）
7時50分 特別警報が発令された茨城県に対し、適切な対応及び被害報告について要請
8時10分 群馬県、埼玉県、千葉県及び東京都に緊急消防援助隊の茨城県及び栃木県への出動準備依頼
9時00分 千葉県は管内の被害状況確認のため、出動不可
9時15分 神奈川県に対し緊急消防援助隊の茨城県及び栃木県への出動準備依頼
10時00分 茨城県及び栃木県に消防庁職員各2名計4名を派遣（以下、茨城県には9月17日まで順次交代要員を派遣。延べ4名）
11時10分 茨城県知事から消防庁長官に対し、緊急消防援助隊の応援要請。同時刻、消防庁長官から埼玉県知事及び東京都知事に対し、緊急消防援助隊の出動要請（ヘリコプターによる情報収集・救助等）
11時50分 埼玉県消防防災ヘリコプター出動（12時20分到着）
12時30分 消防庁長官から群馬県知事及び山梨県知事に対し、緊急消防援助隊の出動要請（ヘリコプターによる情報収集・救助等）
13時00分 群馬県消防防災ヘリコプター出動（13時30分到着）
13時30分 山梨県消防防災ヘリコプター出動（14時18分到着）
14時15分 埼玉県及び群馬県の緊急消防援助隊（陸上部隊）が出動
14時15分 消防庁長官を長とする災害対策本部を設置（第3次応急体制）
14時30分 東京消防庁ヘリコプター出動
16時17分 埼玉県大隊（陸上部隊）が常総地方広域市町村圏事務組合消防本部に到着し、常総市三坂町にて救助活動
16時30分 総理指示を受けて、関係県に対し「平成27年台風第18号による大雨等に伴う対応について」を発出
17時00分 消防防災ヘリコプター6機（茨城県及び緊急消防援助隊）が常総市（旧石下町）周辺で救助活動
18時12分 群馬県大隊（陸上部隊）が常総地方広域市町村圏事務組合消防本部に到着し、常総市三坂町にて救助活動実施
20時00分 救助活動の体制強化を図るため、消防庁長官から千葉県知事に対して出動要請

- 9月11日 2時00分 千葉県及び東京都の緊急消防援助隊（陸上部隊）が出動
3時20分 秋田県、山形県、福島県、新潟県に対し緊急消防援助隊の宮城県への出動準備依頼
3時20分 特別警報が発令された宮城県に対し、適切な対応及び被害報告について要請
4時45分 宮城県に消防庁職員2名を派遣
4時45分 宮城県知事から消防庁長官に対し、緊急消防援助隊の応援要請。同時刻、消防庁長官から新潟県知事に対し、緊急消防援助隊の出動要請
6時30分 新潟県の緊急消防援助隊（陸上部隊）が宮城県に向け出動
7時30分 政府調査団として総務課長を茨城県・栃木県に派遣
8時20分 航空体制強化のため、千葉市消防防災ヘリコプターの出動要請
8時55分 宮城県知事から消防庁長官に対し、県内応援隊等で対応可能である旨の連絡を受け、消防庁長官から新潟県知事に対して宮城県への出動中の部隊の引揚げを連絡
9時20分 千葉市消防防災ヘリコプター出動（9時40分到着）
10時05分 救助体制の強化を図るため、消防庁長官から新潟県知事に対して、緊急消防援助隊の茨城県への出動要請
13時00分 総理指示を受けて、関係道県に対し「平成27年台風第18号等による被害に伴う対応について」を発出
14時00分 新潟県大隊が常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（守谷消防署）に到着し、常総市水海道本町周辺にて救助活動
9月14日 17時00分 茨城県常総市に消防庁職員2名を派遣
9月15日 11時30分 総務大臣が上空から被災地を視察するとともに、常総市に赴き、常総市長との意見交換及び消防隊員への激励を実施
9月17日 9時40分 緊急消防援助隊の引き揚げを決定
【平成28年】
4月1日 10時00分 消防庁災害対策本部廃止

問い合わせ先
消防庁応急対策室
浅見・安西・高木・岩崎
TEL 03-5253-7527
FAX 03-5253-7537